

ペンサコーラ市訪問

2014年2月13日

長嶋伸治

2月5日から7日にかけてフロリダ州北西部にあるペンサコーラ市を訪問しました。今回の訪問はペンサコーラ市と岐阜県下呂市とが今年度姉妹都市20周年を迎えることからこの関係に弾みをつける上で良い機会となること、また日本語教育、日本文化紹介行事の現状把握の観点から西フロリダ大学を始めとする関係団体関係者と意見交換するとの趣旨で行いました。



ちょうど2月8日に下呂市において20周年記念式典が開催予定であったことから、姉妹都市関係のさらなる発展を希望するとの野村下呂市長からハイワード・ペンサコーラ市長へのメッセージを直接伝達しました。ハイワード市長は訪日経験がないので機会を見て是非日本を訪れたいとの希望を述べていました。その後、下呂市の中学生を長年受け入れているブラウン・バージ中学校を訪れ授業の一部を参観した他、学校長や担当教諭と懇談しました。

また、ペンサコーラ所在の西フロリダ大学は、ジャパンハウスと称する日本文化紹介施設兼外国語学習施設を擁し、フロリダ州でも他大学にない日本との学生交流事業、また日本語コースや日本文化関連事業を行っています。ここでは日本語コースの学生と懇談したほか、茶室も備えたジャパンハウスを訪ねトレルファ所長とも意見交換の機会を持ちました。また、ベンス学長に対して今後とも日本関係事業を継続していただけるよう要請し、同学長も日本との交流を重視しており、今後ともその方針であると応じました。



同市には、北西フロリダ州日米協会、ペンサコーラ市国際関係諮問委員会、「盆フェスタ」の各団体が活動しております。ジャパンハウスで開催されたレセプションでこうした団体の方々と懇談する機会をいただきました。日米協会は新年会と銘打って日本文化祭を毎年開催し、諮問委員会は姉妹都市を所管しています。また、「盆フェスタ」は毎年盆踊りを開催し、当総領事館も文化事業として支援しています。参加した皆さんからは日米の文化交流をもっと盛り上げて行きたいとの極めて熱い思いが伝えられ、当館としても市民レベルでの交流をできる限り後押ししていくつもりです。



また、訪問中にペンサコーラ商工会議所主催の朝食会に招かれ、日本との関係強化につき意見交換を行いました。なお、メンバーには日本勤務経験のある退役軍人の方々がおられ、日本に対する強い親近感を表明されるなど今後とも大事におつき合いたいと考えています。

なお、ペンサコーラには米国有数の海軍基地があり、ホスキンス・ペンサコーラ海軍基地司令官を表敬しました。ここでは東日本大震災時の米軍による「トモダチ作戦」について紹介しつつ、空母「ロナルド・レーガン」の派遣を始めとする米軍の救援活動への謝意及び日米同盟に加え両国間の友情と絆の強さをお伝えし、同司令官も日米間のパートナーシップの重要性に触れると共に今回の訪問に感謝していました。



以上に加え、ペンサコーラ所在で日本からフロリダへの大きな投資の部類に入る日立ケーブル社を訪問し、工場の見学とともに事業の現状につき説明をいただきました。

総じてペンサコーラでは日本関係の団体や親日的な人々が活発に日本関連事業を展開されており、当総領事館としてもこうした方々とのつながりを密にしていきたいとの思いを強くしつつ帰途につきました。